

**問 1：慢性腎臓病（CKD）と心血管疾患の関係について述べなさい。**

【出題の意図】

- ・ 慢性疾患に対する病態生理的理解の有無を評価する。
- ・ CKD と他の生活習慣病・合併症との関連を理解しているかを問う。
- ・ 管理栄養士としての食事療法・予防医学の観点からのアプローチ力を見る。

【解答の要点】

1 CKD の定義と概要

- ・ GFR（糸球体濾過量）の低下（60mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満）または腎障害が 3 か月以上持続する状態。
- ・ 日本では高齢化や糖尿病の増加に伴い患者数が増加している。

2 CKD と心血管疾患（CVD）の関連性

- ・ CKD は独立した心血管疾患のリスク因子。
- ・ 腎機能低下に伴う動脈硬化、血圧上昇、炎症、脂質異常、ミネラル代謝異常（高リン血症など）によって心疾患リスクが増大。
- ・ CVD が死亡原因の主因であり、CKD 患者では心疾患による死亡率が高い。

3 栄養学的な観点

- ・ 食塩制限による血圧コントロール。
- ・ タンパク質制限と栄養状態のバランス。
- ・ カリウム、リン、脂質の管理。
- ・ 食事療法の継続には多職種連携が重要。
- ・ 予防と早期介入の重要性
- ・ CKD の進行抑制により CVD の発症を予防できる。
- ・ 一次・二次予防の視点

## 問 2 : 地域包括医療における管理栄養士の役割について述べなさい。

### 【出題の意図】

- ・ 地域包括ケアシステムの理解を確認。
- ・ 高齢化社会における管理栄養士の社会的役割の理解を問う。
- ・ 医療・介護・福祉と連携した実践力への意識の有無を評価。

### 【解答の要点】

#### 1 地域包括医療の概要

- ・ 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制。
- ・ 地域包括ケアシステムの中核。

#### 2 管理栄養士の役割

- ・ 医療機関での栄養指導・栄養管理（入退院支援も含む）。
- ・ 訪問栄養指導による在宅療養者の支援。
- ・ 地域の通いの場（デイサービスなど）での栄養改善活動。
- ・ フレイル・サルコペニア・低栄養予防のための介入。

#### 3 多職種連携

- ・ 医師、看護師、ケアマネジャー、リハビリ職、薬剤師などとの連携。
- ・ 情報共有やケア会議への参画によるチームアプローチ。

#### 4 地域住民への啓発と教育

- ・ 食育や健康づくり教室、特定保健指導など。
- ・ 地域の健康課題に即した栄養支援の企画と実践。

#### 5 今後の課題と展望

- ・ 管理栄養士の配置促進と活動領域の拡大。
- ・ ICT 活用による遠隔栄養指導など。